

医療用品メーカーのダイヤ工業（岡山市南区古新田）は仙台市に物流センターを新設し、4月1日に稼働させる。コルセットやサポーターなど約10万点を保管。売上高の約4

割を占める関東以東の接骨院などへの納期を最大1日短縮し、スムーズな治療につなげる。同社が岡山県外に物流拠点を設けるのは初めて。（水野雅文）

仙台に新物流センター

ダイヤ工業が仙台市に設けた物流センター



ダイヤ工業 来月稼働

物流センターは、仙台市にある4階建て倉庫のうち、3階の一部から仕入れる湿布や鎮痛作用のある塗り薬を賃借。自社製の医療用品を保管し、北海道、東北、関東の接骨院などに配送する。

コルセットなど 納期最大1日短縮

関東以東へ配送

ダイヤ工業によるサポーターは、接骨院用品を保管し、北海道、東北、関東の接骨院などに配送する。現在、本社は仙台市にある倉庫（鉄骨平屋）から全国の接骨院に約3万カ所に製品を送っている。北海道や東北といった遠隔地へ配送する。松尾正男社長は新物流センターについて「自然災害のリスクを分散する狙いもある。製品サンプルを速やかに届けるなど営業を強化し、年間1億円の売り上げアップを目指す」と話している。

同社のコルセットや



腰に取り付けられるコルセット

0人（パート含む）。

同社は1963年設立、資本金1千万円、売上高34億5400万円（2015年3月期）。従業員は約10

(C) 山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。